

【北海道庁から】北海道地域おこし協力隊メールマガジン

北海道 総合政策部 地域創生局 官民連携推進局

■ ■

北海道の地域おこし協力隊の方々にお届けする

■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

メールマガジン♪

■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

研修会やイベントの開催情報

■ ■ ■ ■ ■

全道各地で活躍する地域おこし協力隊の活動状況、

■ ■ ■ ■

定住・起業の支援情報などを発信します。

■目次

- 【1】西塔さん連載企画！～第18回「任期後に向けて、個人で情報発信をしよう」文 西塔大海さん（さとのば大学講師）
- 【2】「道南地域おこし協力隊ネットワーク」9月の活動報告&10月の研修会・イベントのお知らせ
- 【3】「とちかち地域おこし協力隊ネットワーク（TCN）」活動状況のお知らせ
- 【4】「留萌管内地域おこし協力隊ネットワーク+留萌振興局」イベント開催のお知らせ
- 【5】【北海道庁DX推進課】イベントのご案内
- 【6】【日本政策金融公庫】10月開催イベント・セミナーのお知らせ
- 【7】【北海道農政事務所】食に関するイベント等のお知らせ

【1】西塔さん連載企画！～第18回「任期後に向けて、個人で情報発信をしよう」文 西塔大海さん（さとのば大学講師）

今回のテーマは「任期後に向けて、個人で情報発信をしよう」です。

任期後の仕事について、不安を感じている協力隊の方はたくさんいらっしゃいます。

私も『仕事づくり講座』を毎月実施しますが、「何から始めたらいいのか」という質問をもらいます。

すぐにできることは情報発信。

今、自分が考えていることを、人の目にふれる形にしてみましょう。

具体的には、現在協力隊としてやっていることを、SNSに投稿していただくだけです。

多くの方は「まだ何もできていない」「人に自慢できる内容がない」「こんなレベルで恥ずかしい」とおっしゃいます。

しかも、文章を書こうとすると、上手く伝わらない。

それでも、“今、できていること”を見える状態にして、世間に提示しておくことが重要です。

納得いく表現ができるようになるには、続けるしかありません。

3年間は、練習するに十分な期間です。

情報発信といっても、インフルエンサーになる必要はありません。

そのため、炎上しそうな発言や、地域・行政に対して批判的な内容は避けましょう。

地域で幸せを感じた瞬間、協力隊でやりがいを感じた場面を、素直に書いてみましょう。

ただ誠実に表現することで、あなたがどんな人かが周囲に伝わっていきます。

そして、協力隊業務の発信とプライベートの発信を、しっかり分けること。

協力隊業務としては、公式アカウント（協力隊アカウント）を使い、業務時間の中で発信します。

任期後の仕事づくりにつながる個人の発信は、あくまで個人アカウントで、個人名で、プライベート時間を使って行います。

当たり前ですが、公式アカウントを私物化して更新したり、逆に個人アカウントの投稿を業務時間中に行うのはルール違反です。

”自分は何をしている人なのか”を、他者にみてもらうことで、じわじわとコミュニティが広がり、それが縁となり、任期後の仕事をあなたに運んでくれます。

■西塔大海（さいとうもとみ）

合作株式会社取締役 さとのば大学講師

1984年山形県生まれ。2013年、福岡県上毛町に移住し地域おこし協力隊として活動。その後、地域おこし協力隊の支援・制度設計の専門家として、全道各地の自治体で導入・活動・起業の支援に携わる。

また、各地域での移住促進・空き家活用・人材育成などの地域プロジェクトマネージャーの経験を活かし、提言やアドバイザーを努めている。

○さとのば大学 <https://satonova.org/prospective/>

○西塔さん Facebook <https://www.facebook.com/saito.motomi>

【2】「道南地域おこし協力隊ネットワーク」9月の活動報告&10月の研修会・イベントのお知らせ

道南地域おこし協力隊ネットワーク代表の藤谷さん（八雲町地域おこし協力隊）より、ネットワークの活動紹介と研修会・イベントについてお知らせです！

①積丹町のお祭りに参加しました

9月2日積丹町の岬の湯で開催された「祭の音」というイベントにモルックブースを出店させていただきました。ネットワークとして道南以外でブース出店するのは初めての機会でしたが、モルックを通して、祭りの参加者と交流することができ、ネットワークの活動について周知する良い機会となりました。今後も機会があれば道南以外でのイベント出店も検討していきたいと思えます。ぜひお声がけいただければ幸いです。

②厚沢部町にてイベント&交流会を開催しました

9月9日に厚沢部町のレクの森にて、イベント&リアル交流会を開催しました。

厚沢部町に保育園留学に来ていたご家族やその他一般の方におむすびやBBQセットを提供したほか、子供向けの遊びコーナーやキャンプ体験コーナーなども実施しました。

その後、ネットワーク主催のリアル交流会を開催し、道南各地から約10名の方にご参加いただきました。

それぞれの普段の活動についてや今後一緒に活動していきたい内容などを話しながら交流を深めることができました。

今後も定期的に集まれる場を作っていきたいと思えます。

③NoMaps はこだて 2023 にブース出展&登壇します

10月6日～8日に函館のはこだて未来大学で行われる「NoMaps はこだて 2023」というイベントにブース出展をさせていただくほか、まちづくりをテーマにしたトークセッションに登壇をさせていただきます。

これまでの活動についてやこれからの活動計画について色んな方に知っていただける機会になればと思っています。

<https://hakodate-no-maps.jp/nmh2023/talk01>

④地域おこし協力隊活用研修会を開催します

10月22日に函館市の商業施設シエスタハコダテにて協力隊の受け入れを行っている自治体職員様、企業や団体の職員様向けの研修会を開催することになりました。当日は「道南の未来をつくる」をテーマに各地のグルメやパフォーマンス、ワークショップなどが集合する「道南フェスティバル」も開催されますので、そちらと合わせてぜひご参加いただくと幸いです。

【イベント概要】

▼日時：10月22日（日）15:00～17:00

▼場所：シエスタハコダテ4階Gスクエア（函館市本町24-1）

▼定員：20名

▼プログラム：「地域おこし協力隊活用研修会」

① 協力隊制度をより有効に活用する方法論とミスマッチをなくし、定住に繋がる募集要項の作り方の講義

講師：地域おこし協力隊アドバイザー 野口拓郎 氏

② 官民連携での協力隊支援の事例紹介

講師：Fanfare あびら起業家カレッジ 小町谷 健彦 氏・安平町

③ グループトーク

▼対象：

- ・ 協力隊担当課および受入課の職員さま
- ・ 協力隊を受け入れている企業や団体の職員さま
- ・ 現役の地域おこし協力隊およびOBOGの皆さま

▼申込締切日：2023年10月20日（金）まで

▼お申し込み先：<https://forms.gle/pKBv5yH9enhQRdq9>

上記のフォームよりお申し込みください。難しい方はお問合せください。

【お問い合わせ先】

▼部署：道南地域おこし協力隊ネットワーク代表

▼担当者：藤谷周平

▼電話：070-4559-4725

▼Email：shuhei.fujiya.yakumo@gmail.com

【3】「とち地域おこし協力隊ネットワーク（TCN）」活動状況のお知らせ

とち地域おこし協力隊ネットワーク副代表の磯野さん（広尾町地域おこし協力隊）からネットワークの活動報告がありましたので、お知らせします！

9/22(金)に開催された十勝関係案内所#03に、TCN代表、副代表、監事の三名がゲストスピーカーとして出席してきました。

十勝関係案内所は十勝シティデザイン(株)が運営しています。

当案内所ではSHIBUYA QWS@東京都渋谷区とHOTEL NUPKA@北海道帯広市とを次世代型テレプレゼンシステム「窓」を用いて繋ぎ、2023年9月から12月までの四ヶ月間に約30～50回の「交流関係セクション」を開催し、十勝でモノづくりやコトづくりを行う「Makers（創り人）」の取り組みを、リアルバーチャルな双方向コミュニケーションで紹介しています注1）。

その第三回目に我々TCNにゲストスピーカーとしてお声がかかり、組織概要や活動履歴などを窓越しに報告しました。

我々TCNは発足一年目であることから、いまは協力隊の水平的な関係性構築や包括的な地域理解といった基盤的取り組みが中心となっています。

今回の報告ではまさにその内容をプレゼンしたのですが、窓越しの参加者からは協力隊卒業後を見据えた発展的活動を中心としたTCNの将来的なビジョンに関する質問が数多く寄せられました。

今現在は「協力隊による協力隊のための」を強く意識した活動を展開していますが、将来的にはもちろん十勝管内をはじめとする各種団体との連携構築ならびにその強化を図るつもりです。窓越しの参加者とのディスカッションを通じて、TCNが関係人口の創出においてどのような役割を担うのか、またそれを果たすためには今なにが必要で、どのような道筋を描いて課題解決に着手すべきなのか、そのヒントを得られたと感じています。

TCNはJICA帯広をはじめ各種団体との連携を徐々に図ってきましたが、十勝関係案内所との関わりを通して、その交流機会が格段に増加しつつあります。今後もゲストスピーカーとしてだけでなく、一参加者として十勝関係案内所に関わる予定です。新たな交流を通して、どういった関係人口が生まれるのか、そのなかでTCNがどのような存在となりうるのか、非常に楽しみにしています。

【お問い合わせ先】

▼部署：とちか地域おこし協力隊ネットワーク（研修交流部会）

▼担当者：磯野 巧

▼Email：tcn.manage@gmail.com

【4】「留萌管内地域おこし協力隊ネットワーク+留萌振興局」イベント開催のお知らせ

留萌管内地域おこし協力隊ネットワーク事務局長の佐伯さん（留萌市地域おこし協力隊）と留萌振興局地域政策課からキャラバン企画イベントのお知らせです！

各地で協力隊ネットワーク組織が生まれ、まちの垣根を超えた連携がどんどん活発になる今、「次はどんな繋がりか」「どんな化学反応か」とワクワクしている協力隊の皆様。北海道のひだりうえに集まりませんか？

来る10月14～15日、

- ・留萌管内の魅力体験
- ・道内協力隊の交流、意見交換を目的とした

留萌管内協力隊ネットワーク（略して留協ネ）と留萌振興局が共催の「オロロンキャラバン」なるものを開催します！

みんなでバスに乗り、一泊二日でオロロンラインを巡ります。管内協力隊の活動見学、特産品のセピザづくり、交流会などを通じて、地域性や活動の違い、そして新たに生まれるアイデアや絆を体感し、さらなる連携を目指して改めて肩を組み合う。そんな時間にできたらなと思っています。

とは書きましたが、美味しいものを食べながら、楽しくお話して交流を深める。それが大事な目的です。ぜひお気軽にご参加ください！

【イベント概要】

○集合

令和5年10月14日（土）13時

○解散

令和5年10月15日（日）14時予定

○集合・解散場所

留萌振興局駐車場集合（留萌市住之江町2-1-2）

○宿泊場所

天塩町鏡沼海浜公園キャンプ場（バンガロー）

○費用

宿泊費・交流会食事代は基本無料（飲み物代金は負担いただきます）

○参集範囲

道内各市町村の協力隊員等

○定員

30名（留萌管内協力隊合わせて）

○参加申込期限

令和5年10月3日（火）

【お問い合わせ先】

▼担当者：留協ネ事務局長 佐伯 結（さえき ゆい）

▼電話：090-8373-8043

▼Email：yuisaeki1211@gmail.com

又は

▼担当部署：留萌振興局地域政策課

▼電話：0164-42-8423

▼Email：rumoi.chisei@pref.hokkaido.lg.jp

皆様のご参加、心よりお待ちしております！
寒くなりだす秋の季節に、熱い夜を過ごしましょう。

【5】【北海道庁DX推進課】イベントのご案内

北海道庁DX推進課とNTT東日本が主催のデジタル活用に関するイベントのご案内です。

（北海道ミライづくりフォーラム2023開催）のお知らせ
ほっかいどうのミライをつくるための技術と人を集結！

道とNTT東日本は、北海道 Society5.0 の実現に向けたデジタル活用の機運醸成と各地域における具体的な取組の推進を目的に「北海道ミライづくりフォーラム」を開催します。

自治体や民間企業が取り組む数々の事例紹介やデジタル技術の展示、自治体DXやドローン、教育分野でのデジタル活用をテーマにしたセミナーやディスカッションなど、自治体DXのヒントがすべて詰まったイベントです。是非ご来場ください！

<イベントURL>

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/df/157203.html>

【イベント概要】

▼日時：令和5年11月2日（木）10：00－17：15

▼場所：ロイトン札幌（札幌市中央区北1条西11丁目1番地1）

▼プログラム：

AM) 基調講演：北海道大学 川村教授「人工知能の未来 ChatGPT を超えて」

PM) 自治体DX会議（自治体の事例発表、パネルディスカッション）

教育ICTフォーラム（ガイダンス、特別講演、事例発表等）

ドローンフォーラム（先進事例発表、パネルディスカッション等）

ミートアップイベント（名刺交換、個別相談）

終日) 自治体DX展示(働き方改革、一次産業、防災、観光、教育、ドローン等)
ドローン体験コーナー(ドローン操縦体験、ドローンサッカー)

▼申込締切日: 令和5年11月1日(水)

▼お申し込み先: (LGWAN) <https://cloud.harp.asp.lgwan.jp/id=newKzpn>
(一般) <https://www.harp.lg.jp/VWW1QXgl>

【お問い合わせ先】

▼担当者・部署: 黒澤(北海道DX推進課)

▼電話: 011-204-5172

▼Email: kurosawa.atsushi1@pref.hokkaido.lg.jp

【6】【日本政策金融公庫】10月開催イベント・セミナーのお知らせ

日本政策金融公庫よりお知らせです!

(1) 北海道初開催! オープンネームによる後継者募集イベントを10月24日(火)にオンライン開催します。

北海道商工会連合会、北海道事業承継・引継ぎ支援センター、北海道及び日本政策金融公庫(略称: 日本公庫)の北海道内9支店(札幌・札幌北・旭川・函館・帯広・釧路・北見・室蘭・小樽)は、「事業承継での創業」や「M&Aでの事業拡大・経営多角化等」に関心がある方等を対象とする「オープンネームによる後継者募集イベント」を、10月24日(火)にオンラインで北海道初開催します。

第1部では、北海道内の事業者4社が実名で登壇し、事業所周辺や営業状況の映像なども交えて経営者本人が事業内容をご紹介します。経営者本人へのオンラインでのご質問や、マッチングの希望も可能です。

経営者の高齢化や新型コロナウイルスの影響等により、事業承継は一層喫緊の課題となっています。北海道商工会連合会、北海道事業承継・引継ぎ支援センター、北海道及び日本公庫は、地域で必要とされる事業を次世代につなぐため、本イベントを契機として、引き続き、北海道内における中小・小規模事業者の事業承継問題の解決に貢献できるよう取り組んでまいります。

【開催概要】

▼日程: 令和5年10月24日(火) 18時~

▼対象者: 事業承継での創業をお考えの方、M&Aでの事業拡大等をお考えの方

▼定員: 200名(先着順)

▼開催方式: Zoomを利用したオンライン配信

▼参加費: 無料

▼申込方法: 下記URLより申込

https://direct.jfc.go.jp/w112_SeminarApply?id=3be403f2-c07f-4d02-a273-4f5a3ed378bf

【お問い合わせ先】

▼担当者: 伊藤、飯野(日本政策金融公庫 札幌支店)

▼電話: 0570-00-0202

(2) セミナー情報(さっぽろソーシャルビジネススクール)のご案内です
社会課題をビジネスで解決するソーシャルビジネスを1から学び、社会起業家へステップアップできる全4日間の講座です。令和5年度 札幌市「特定創業支援等事業」となります。

▼開催日時: 10月5日(木)、12日(木)、19日(木)、26日(木)
各日 18:00~21:00

